

工 種	排水路工	工 事 番 号	農 第 13 号	設 計 年 月 日	令 和 元 年 8 月
工 事 箇 所	小 矢 部 市 下 後 函 地 内				
令 和 元 年 度					
下 後 函 地 区 排 水 路 改 良 工 事					
小 矢 部 市					
請 負 金 額		工 期	令 和 元 年 9 月 1 9 日 令 和 元 年 1 2 月 2 0 日		

< 理由 >

< 概要 >

張りブロック工

L=77.6m

- ・土工 一式
- ・張りブロック A=77.6m<sup>2</sup>

## 特記仕様書

工事名： 下後巫地区排水路改良工事

### 第1条 一般

この特記仕様書は、「土木工事共通仕様書（富山県農林水産部）平成 25 年 7 月」によるものとし、第 1 編共通編 1-1-2 第 5 項に基づき、本工事に必要な事項について定めるものとする。

本工事の施工にあたっては、共通仕様書及び特記仕様書の他、これに付随する関係基準書等に基づいて適正に施工すること。

### 第2条 安全管理

工事期間中は、安全管理要員等を配置し、工事区域内全般の巡視、点検、連絡調整等を行い安全確保に努めなければならない。

### 第3条 安全教育・訓練の実施

- 1 労働安全衛生法等に基づき日々の安全教育のほか、すべての作業員を対象に工事現場に即した安全教育・訓練等を「安全教育・訓練等の実施要領」により毎月 1 回（半日）以上の頻度で実施するものとする。
- 2 実施項目について「土木工事共通仕様書」（富山県農林水産部）1-1-5 施工計画書の記載事項として「(4) 安全管理」に含め、「安全教育・訓練の実施要領」様式-1 により工事の内容に即した安全・訓練等の具体的な計画を作成し、監督員に提出するものとする。
- 3 安全・訓練等の実施については、「安全教育・訓練等の実施要領」の様式-2 により安全教育・訓練等の実施毎に記録写真等を撮影し、工事完成時に監督員に提出するものとする。

### 第4条 過積載防止対策

道路交通法及び道路法を遵守するとともに、過積載防止対策を記載した施工計画書を提出するものとする。

### 第5条 地場産品の優先使用

本工事に使用する資材等は、品質が水準以上であり、かつ価格が適正である場合には、県内地産品を優先使用するものとする。

### 第6条 下請関係の適正化

本工事を下請に付す場合は、「施工体制の適正化及び一括下請負の禁止の徹底等について」を遵守すること。

### 第7条 社内検査の実施

請負者は、工事の途中段階及び完成時において、発注者の検査前に社内検査を実施するものとし、時期・内容等について施工計画書に記載すること。また、実施結果について監督員に提示するものとする。

## 第8条 公害防止

建設機械の搬入・搬出及び現場作業による土砂の流出等により周辺に影響を及ぼした場合は、直ちに現状に回復すること。また、本工事により周辺に影響が出ないように配慮すること。

## 第9条 施工機械

1 本工事において以下に示す建設機械を使用する場合は、排出ガス対策型建設機械指定要領に基づき、国土交通省で指定された建設機械を使用することとする。

なお、排出ガス対策型建設機械に替えて国土交通省で認定された排出ガス浄化装置を装着した建設機械についても、排出ガス対策型と同様と見なすものとする。

機種	備考
バックホウ トラクタショベル（車輪式） ブルドーザ 発動発電機（可搬式） 空気圧縮機（可搬式） 油圧ユニット類 以下に示す基礎工事用機械のうち、ベースマシンとは別に、独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載するもの 油圧ハンマ・バイプロハンマ・油圧式鋼管圧入引抜機・油圧式杭圧入引抜機・アースオーガ・オールケーシング掘削機・リバースサーキュレーション・アースドリル・地下連続壁施工機・全回転型オールケーシング掘削機 ローラ類 ロードローラ・タイヤローラ・振動ローラ ホイールクレーン	ディーゼルエンジン（エンジン出力7.5kw以上260kw以下）を搭載した建設機械を対象とする

2 排出対策型建設機械を使用する場合は、施工計画書（富山県土木部土木工事共通仕様書 施工計画書 指定機械）の中で①機種・②メーカー名・③形式・④台数等を記載するものとする。なお、排出ガス対策型建設機械をやむを得ず使用できない場合は、設計変更の対象とする。ただし、機械損料に差額のない機種についてはこの限りではない。

## 第10条 アスファルト混合物

1 本工事のアスファルト混合物は再生材入りアスファルト混合物を使用するものとする。

2 上記によりがたい場合は、監督員との協議により再生材の混入しないアスファルト混合物（バージン材）を使用することができる。

#### 第11条 コンクリート配合

使用目的別の配合諸元は次表のとおり。

番号	呼び強度 (N/mm <sup>2</sup> )	スラブ <sup>°</sup> (cm)	粗骨材の 最大寸法 (mm)	W/C (%)	C (kg/m <sup>3</sup> )	使用目的
1	18	8	25	65 以下	-	基礎コンクリート

指定した呼び強度に対して水セメント比が確保できない場合は、上位規格を用いるものとする。

#### 第12条 産業廃棄物の適正処分

本工事から発生する産業廃棄物の処分は、その費用も含め元請業者自らの責任において適正に処分しなければならず、再資源化施設において適正に処分されていることが確認できる書類（マニフェスト）を監督員に提示するとともに、運搬・処理を委託する場合は、産業廃棄物処理業者との委託契約書を監督員に提示するものとする。

特定建設資材廃棄物の種類	再資源化施設の場所	運搬距離
コンクリート塊	なし	L= km
アスファルト塊	なし	L= km
建設発生木材	なし	L= km

#### 第13条 残土の処分地

残土の処分地は以下のとおりとする。なお、これによらない場合は監督員と協議するものとするが、やむを得ない場合を除き、処分地変更の場合は設計変更の対象としない。

種別	処分地
残土	小矢部市 名畑

#### 第14条 消費税の取扱いについて

工事の引渡し日が10月1日前となった場合、もしくは消費税の引き上げが延期となった場合は、減額に係る変更契約を取り交わす。

#### 第15条 その他

その他、定めがない事項について疑義が生じた場合は、その都度監督員と協議するものとする。

# 総括情報表

事務所 設計書名 変更回数	0003 農 林 課 実施設計書 当初 0		
適用単価 適用単価地区 単価適用年月日	1 実施単価 27 砺波地区 0-01.08.15(0)		
諸経費体系	1 農地		
	当 世 代		前 世 代
前払率 諸経費工種 電力区分 (1) 電力区分 (2) 豪雪地域補正 冬期労務補正 週休2日工事区分 施工地域区分 契約保証区分 消費税率 (%)	40 06 河川・排水路 01 臨時低圧電力 10 他季1 01 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 12 補正無し 03 補正なし 10		

# 本工事費内訳表

	費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
本工事費						X1000
河川排水路工事						Y1106
土工						Y210601
掘削工						Y31060101
土砂等運搬						Y4106010105
	土砂等運搬[バックホ積込] 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)	27	m3			SP2002 0 A=1, B=1, C=1, D=1, E=13 施工 第0-0001号表
	公共用残土仮置場 (搬入)	27	m3			TST18 0
床掘り						Y4106010108
	床掘り[バックホ] 土砂 施工方法 標準	39	m3			SP2010 0 A=1, B=1, C=1, D=1 施工 第0-0002号表

# 本工事費内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
人力埋戻 (機械併用) 砂・砂質土 機械投入+まき出し 土砂									S2501 0 A=1, B=4	
整形仕上げ工	16		m <sup>3</sup>						施工 第0-0003号表	
法面整形									Y31060103	
法面整形 盛土部 砂質土、砂及び砂質土、粘性土 現場制約 無し									Y4106010303	
法面工	47		m <sup>2</sup>						SP2027 0 A=1, B=1, C=2, D=2	
コンクリート[バックホ(クレーン機能付)打設] 無筋・鉄筋構造物 養生無し									施工 第0-0005号表	
養生 一般養生 無筋構造物	4.66		m <sup>3</sup>						Y210611	
養生 一般養生 無筋構造物	4.66		m <sup>3</sup>						SP2082 0 A=1, B=3, C=15, E=1, I=1	
型枠[一般] 一般型枠 鉄筋・無筋構造物									施工 第0-0006号表	
張ブロック工 (空張) ブロック厚 8cm									S0073 0 A=1	
	23.28		m <sup>2</sup>						施工 第0-0007号表	
	77.6		m <sup>2</sup>						SP2084 0 A=1, B=1	
									施工 第0-0008号表	
									S0234 0 A=1, B=1	
									施工 第0-0009号表	



# 本工事費内訳表

頁0-0004

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
吸出し防止マット t=10mm 幅 1m 長10m	77.6	m <sup>2</sup>			T4811 0
仮設材の積込・取卸費 往復分	33	t			S4910 0 A=2 施工 第0-0010号表
敷鉄板設置・撤去工 設置～賃料～撤去	195	m <sup>2</sup>			S0509 0 A=1, B=60, C=1 施工 第0-0011号表
耕地復旧工					Y210612
コンクリート工					Y31061201
掘削[オープソカット] 土砂 オープソカット	4	m <sup>3</sup>			SP2001 0 A=1, B=1, D=2, E=1, F=3 施工 第0-0012号表
コンクリート[バックホウ(クレーン機能付)打設] 無筋・鉄筋構造物 養生無し	3	m <sup>3</sup>			SP2082 0 A=1, B=3, C=15, E=1, I=1 施工 第0-0006号表
直接工事費					
共通仮設費(積上げ分)					

小 矢 部

# 本工事費内訳表

	費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
運搬費						Z0005
仮設材輸送			式			Y2ZZ0502
	仮設材の運搬費 往復（片道運搬距離4km） 製品長12m以内	33	t			S4909 0 A=2, B=1, C=4, D=1, E=1 施工 第0-0013号表
共通仮設費 （率分）			式			
共通仮設費計						
純工事費						
現場管理費			式			
工事原価						
一般管理費等			式			

# 本工事費内訳表

	費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
工事価格						
消費税・地方 消費税相当額			式			
請負対象工事費						
工事価格計						
消費税・地方 消費税相当額			式			
請負対象工事費計						

# 施工内訳表

SP2002

施工 第0-0001号表

[名称] 土砂等運搬[バックホ積込]		[規格2] 土砂(岩塊・玉石混り土含む)		1	m3	当り
[規格1] 標準		[規格2] 土砂(岩塊・玉石混り土含む)		標準単価: 932.84		
機械構成比: 48.90%		労務構成比: 36.46%		材料構成比: 14.64%		市場単価構成比: 0.00%
代表機労材規格	構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考	
ダンプトラック (オンロード・ディーゼル) 10 t 積級	48.90%		ダンプトラック		M0305	
一般運転手	36.46%		運転手 (一般) 東京単価		R0011	
軽油 1・2号	14.64%		軽油 東京単価 1・2号 パトロール給油		T5106	
積算単価			積算単価		EP001	
A=1 標準			B=1 バックホ山積0.8m3(平積0.6m3)			
C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む)			D=1 DID区間 無し			
E=13 5.5km以下						

# 施工内訳表

SP2010

施工 第0-0002号表

[名称] 床掘り[バックホ]				1	m3	当り
[規格1] 土砂				[規格2] 施工方法 標準		
機械構成比: 44.92%		労務構成比: 37.40%		材料構成比: 17.68%		市場単価構成比: 0.00%
代表機 労材 規格		構成比	単 価	代表機 労材 規格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホウ(クローラ型)標準型 山積0.8m3(平積0.6m3) 排出ガス対策型(第2次基準値)		44.92%		バックホウ		MHH111
特殊運転手		37.40%		運転手(特殊) 東京単価		R0010
軽油 1・2号		17.68%		軽油 東京単価 1・2号 パトロール給油		T5106
積算単価				積算単価		EP001
A=1 土砂	C=1 土留 無し			B=1 標準 D=1 障害 無し		

# 施工内訳表

[名称] 人力埋戻 (機械併用)		[規格1] 砂・砂質土 機械投入+まき出し		[規格2] 土砂		10	m3	当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備	考		
普通作業員		人			R0002			
積込 (ルーズ) [小規模] 土砂 小規模(標準)	10.00	m3			まきだし SP2007	施工 第0-0004号表		
***合計***	10	m3			A=1, B=4			
**単位当り**	1	m3						
A=1 砂・砂質土 機械投入+まき出し			B=4	小規模 (標準) (山積0.28m3級)				

# 施工内訳表

SP2007

施工 第0-0004号表

[名称] 積込 (ルーズ) [小規模]		[規格2] 小規模(標準)		1	m3	当り
[規格1] 土砂		[規格2] 小規模(標準)				
機械構成比: 31.50%		労務構成比: 57.43%		材料構成比: 11.07%		市場単価構成比: 0.00%
代表機労材規格		構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ (クローラ型) 標準型 山積0.28m3 (平積0.2m3) 排出ガス対策型 (第2次基準値)		31.50%		バックホウ		MHH107
特殊運転手		57.43%		運転手 (特殊) 東京単価		R0010
軽油 1・2号		11.07%		軽油 東京単価 1・2号 パトロール給油		T5106
積算単価				積算単価		EP001
A=1	土砂			B=4	小規模(標準)	

# 施工内訳表

SP2027

施工 第0-0005号表

[名称] 法面整形		[規格1] 盛土部 ㄧ質土、砂及び砂質土、粘性土		[規格2] 現場制約 無し	
機械構成比: 14.18%		労務構成比: 73.57%		材料構成比: 12.25%	
代表機 労材規格		構成比	単価	代表機 労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
					備考
バックホウ賃料		14.18%		バックホウ (クローラ型) 東京単価 山積0.8m <sup>3</sup> (平積0.6m <sup>3</sup> )	TVA85
普通作業員		30.38%		普通作業員 東京単価	R0002
特殊運転手		27.03%		運転手 (特殊) 東京単価	R0010
土木一般世話役		16.16%		土木一般世話役 東京単価	R0047
軽油 1・2号		12.25%		軽油 東京単価 1・2号 パトロール給油	T5106
積算単価				積算単価	EP001
A=1 C=2	盛土部 現場制約 無し			B=1 D=2 法面締固め 有り ㄧ質土、砂及び砂質土、粘性土	



# 施工内訳表

SP2082

施工 第0-0006号表

頁0-0012

[名称] コンクリート[バックホウ(クレーン機能付)打設]		1	m3	当り	
[規格1] 無筋・鉄筋構造物		[規格2] 養生無し			
機械構成比: 4.90%		労務構成比: 36.08%		材料構成比: 59.02%	
		市場単価構成比: 0.00%		標準単価: 26,129	
代表機労材規格	構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ賃料(クレーン付)	4.63%		バックホウ(クローラ型) 東京単価[クレーン機能付] 山積0.8m3(平積0.6m3) 吊能力2.9t		TVA91
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	11.54%		特殊作業員 東京単価		R0001
普通作業員	8.50%		普通作業員 東京単価		R0002
特殊運転手	7.06%		運転手(特殊) 東京単価		R0010
土木一般世話役	6.94%		土木一般世話役 東京単価		R0047
その他(労務)			その他(労務)		ER009
生コンクリート 18- 8-25 (W/C= 65%以下)	56.97%		生コンクリート 東京単価 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		T7013
軽油 1・2号	1.94%		軽油 東京単価 1・2号 パトロール給油		T5106
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		EP001

小 矢 部



# 施工内訳表

[名称] 養生 [規格1] 一般養生		無筋構造物		[規格2]		10	m3	当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備	考		
普通作業員		人			R0002			
諸雑費		%			#01			
***合計***	10	m3						
**単位当り**	1	m3						
A=1 一般養生			無筋構造物					

SP2084

# 施工内訳表

施工 第0-008号表

頁0-0015

[名称] 型枠[一般]		[規格1] 一般型枠		[規格2] 鉄筋・無筋構造物	
機械構成比: 0.00%		労務構成比: 100.00%		市場単価構成比: 0.00%	
標準単価: 8,254.4		1		m <sup>2</sup> 当り	
代表機労材規格	構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型枠工	47.76%		型わく工 東京単価		R0021
普通作業員	24.47%		普通作業員 東京単価		R0002
土木一般世話役	9.08%		土木一般世話役 東京単価		R0047
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠			B=1 鉄筋・無筋構造物		

小 矢 部

# 施工内訳表

[名称] 張ブロック工 (空張)		[規格1] ブロック厚 8cm		[規格2]		10	m <sup>2</sup>	当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備	考		
張ブロック t = 8cm 500×500以下	10.00	m <sup>2</sup>			T3593			
普通ポルトランドセメント	0.045	t			T3652			
洗砂 (細骨材用) 細目	0.078	m <sup>3</sup>			T7071			
土木一般世話役		人			R0047			
ブロック工		人			R0006			
普通作業員		人			R0002			
バックホウ賃料 (クレーン付)		供用日			TVA90			
軽油 1・2号		L			T5106			
特殊運転手		人			R0010			
***合計***	10	m <sup>2</sup>						
***単位当り***	1	m <sup>2</sup>						
A=1 ブロック厚 8cm			B=1 目地	モルタル使用				

# 施工内訳表

[名称] 仮設材の積込・取卸費					1	t	当り
[規格1] 往復分		[規格2]					
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備	考	
積込・取卸費	1.00	t			T9993		
**単位当り**	1	t					
A=2 往復分							

# 施工内訳表

[名称] 敷鉄板設置・撤去 [規格1] 設置～賃料～撤去		[規格2]		1000	m <sup>2</sup>	当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備	考
敷鉄板賃料 1524×6096×22 供用日数 1～90日	60,000.00	m <sup>2</sup> 供用日			M9504	
敷鉄板整備費 1524×6096×22	1,000.00	m <sup>2</sup>			M9511	
特殊作業員		人			R0001	
普通作業員		人			R0002	
バックホウ賃料 (クレーン付)		供用日			TVA91	
軽油 1・2号		L			T5106	
特殊運転手		人			R0010	
***合計***	1,000	m <sup>2</sup>				
***単位当り***	1	m <sup>2</sup>				
A=1 設置～賃料～撤去 C=1 使用回数 (回)			B=60 供用日数 (日)			

# 施工内訳表

SP2001

施工 第0-0012号表

[名称] 掘削[オープンカット]				1	m3	当り
[規格1] 土砂				[規格2] オープンカット		
機械構成比: 49.10%		労務構成比: 32.84%		材料構成比: 18.06%		市場単価構成比: 0.00%
代表機労材規格		構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型)標準型・超低騒音型 山積0.8m3(平積0.6m3) 排出ガス対策型(第3次基準値)		49.10%		バックホウ		MHS165
特殊運転手		32.84%		運転手(特殊) 東京単価		R0010
軽油 1・2号		18.06%		軽油 東京単価 1・2号 パトロール給油		T5106
積算単価				積算単価		EP001
A=1	土砂			B=1	オープンカット	
D=2	押土 無し			E=1	障害 無し	
F=3	5,000m3未満					





# 機 労 材 集 計 表

項番	単価 コード	集計 区分	単 価 値	数量累計	単 位	単 価 名 称	集 計 区 分 名 称
1	M9504	199		11,700	m <sup>2</sup> 供用日	敷鉄板賃料	リース料
2	M9511	199		195	m <sup>2</sup>	敷鉄板整備費	リース料
3	R0001	150			人	特殊作業員	公共工事設計労務単価
4	R0002	150			人	普通作業員	公共工事設計労務単価
5	R0006	150			人	ブロック工	公共工事設計労務単価
6	R0010	150			人	特殊運転手	公共工事設計労務単価
7	R0047	150			人	世話役	公共工事設計労務単価
8	T3593	28		77.6	m <sup>2</sup>	張ブロック	コンクブロック
9	T3652	103		0.3492	t	セメント 25kg/袋	セメント
10	T4811	68		77.6	m <sup>2</sup>	吸出し防止マット	吸出防止材
11	T5106	133			L	軽油	軽油
12	T7071	107		0.6053	m <sup>3</sup>	砂	コンクリ用骨材
13	T9992	200		33	t	運搬費(往復)	その他・市場単価等
14	T9993	200		33	t	積込・取卸費	その他・市場単価等
15	TST18	110		27	m <sup>3</sup>	公共用残土仮置場(搬入)	公共用残土
16	TVA90	199			供用日	バックホウ賃料 (クレーン機能付)	リース料
17	TVA91	199			供用日	バックホウ (クレーン機能付)	リース料

材料数量計算書

工事区分				規格	算 式	数量	単位	備考
路線 (レベル1)								
工種 (レベル2)								
種別 (レベル3)								
細別 (レベル4)								
排水路改良						1.0	式	
		土工				1.0	式	別途集計表あり
		掘削工				1.0	式	
		床掘	バックホウ掘削0.6m3			39	m3	
		埋戻工				1.0	式	
		埋戻	発生土			16	m3	
		残土処理工				1.0	式	
		残土運搬	ダンプトラック 10t			27	m3	
		残土処理		同上		27	m3	
		法面整形工				1.0	式	
		盛土法面仕上				47	m2	
		切土法面仕上				0	m2	
		張りブロック工		77.60 m		1.0	式	77.6
		基礎コンクリート	18-8-25	0.60/10.00*77.60		4.66	m3	
		養生	無筋構造物	コンクリートと同数量		4.66	m3	
		型枠		3.00/10.00*77.60		23.28	m2	
		張りブロック	500*500*80	40/10.00*77.60		310	枚	
		吸出し防止材	t=10mm	10.00/10.00*77.60		77.60	m2	
		コンクリート工						
		掘削工		40*0.10		4.00	m3	
		基礎コンクリート	18-8-25	30*0.10		3.00	m3	

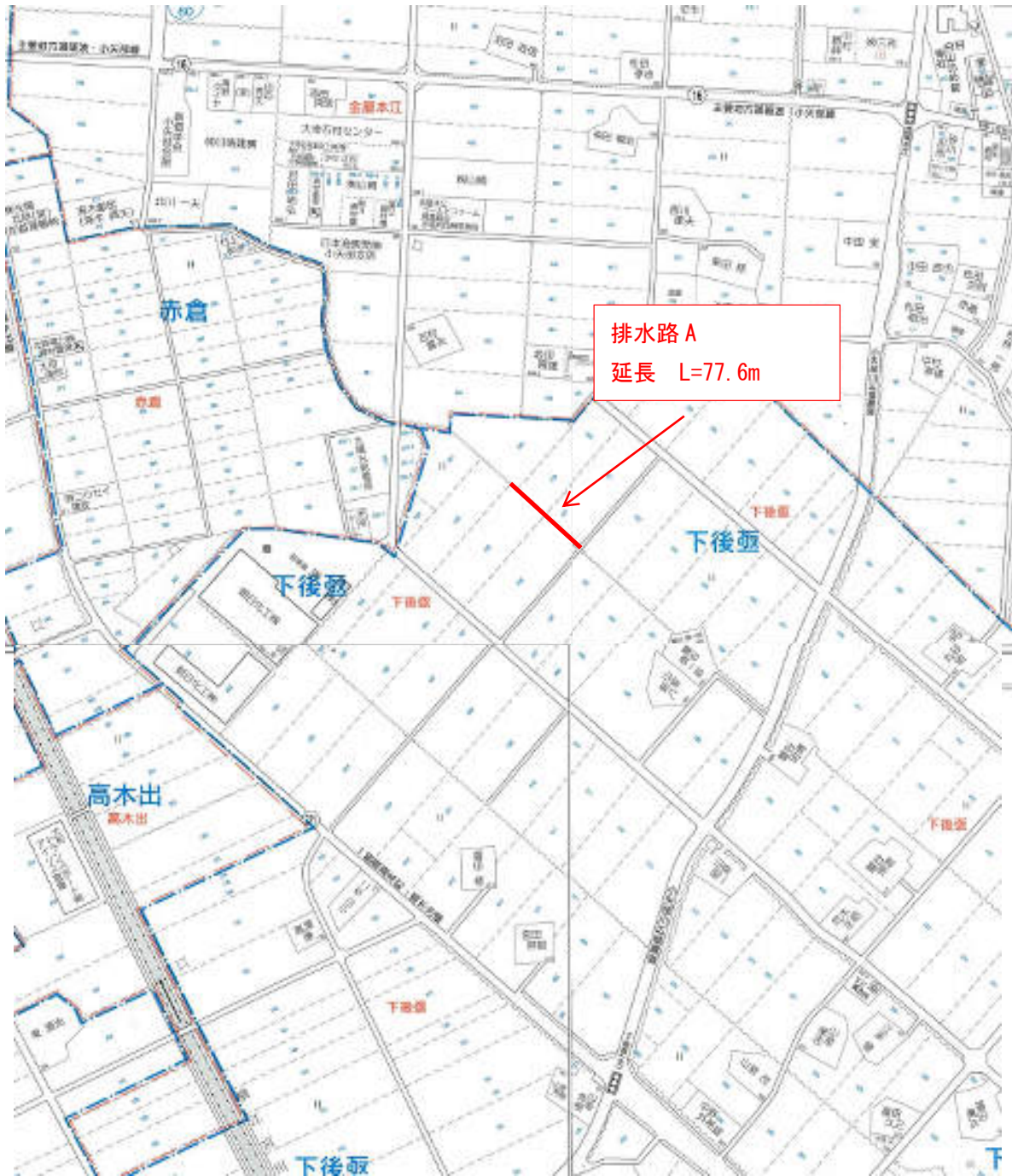
一般数量集計表

土工

測点	距離	床掘		盛土		埋戻		盛土法面仕上		切土法面仕上		流用土				累計 残土	
		断面積	体積	断面積	体積	断面積	体積	幅	面積	幅	面積	発生土		流用土			
												土量	累計	土量	累計		
NO. 3 +	10.00	0.00	0.5	0.0	0.0	0.2	0.0	0.6	0.0		0.0	0.0			0.0		
NO. 4 +	17.00	77.60	0.5	38.8	0.0	0.2	15.5	0.6	46.6		0.0	38.8	38.8	15.5	15.5	23.3	
計	77.60		38.8	0.0	0.0	15.5		46.6		0.0	38.8		15.5		23.3		

発生土=床掘  
流用土=盛土+埋戻

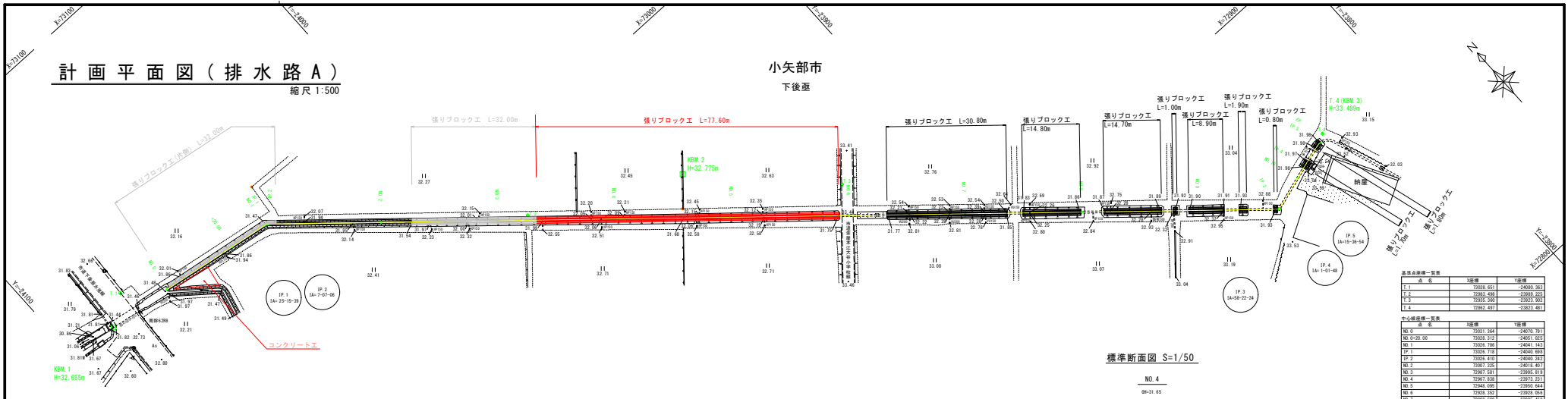
位置図



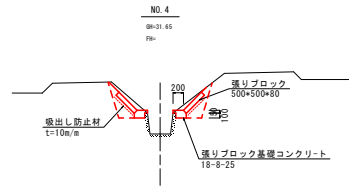
# 計画平面図 (排水路 A)

縮尺 1:500

小矢部市  
下後区



標準断面図 S=1/50



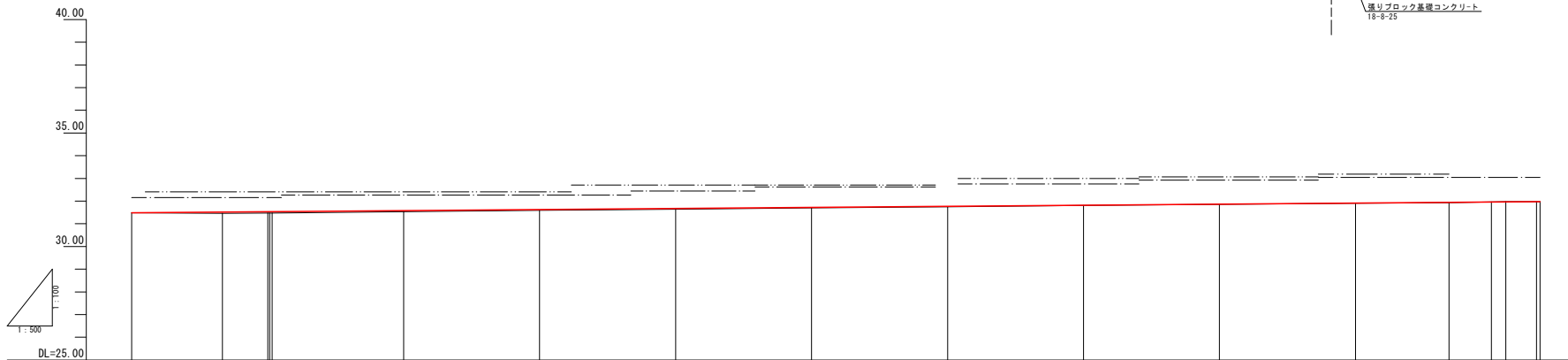
基準点経緯一覧表		
点名	X座標	Y座標
E.1	72828.621	-24689.363
E.2	72833.489	-24689.225
E.3	72832.282	-24687.861
E.4	72842.431	-24632.461

中心線経緯一覧表		
線番号	X座標	Y座標
NO.0	72831.264	-24676.761
NO.1	72832.212	-24676.623
NO.2	72829.736	-24644.141
IP.1	72834.188	-24646.089
IP.2	72834.410	-24650.347
NO.3	72827.225	-24618.407
NO.4	72827.811	-24608.613
NO.5	72828.029	-24606.463
NO.6	72828.232	-24624.624
NO.7	72828.468	-24629.463
NO.8	72828.806	-24621.811
NO.9	72829.122	-24620.212
IP.3	72829.927	-24644.114
NO.10	72828.239	-24633.851
IP.4	72828.238	-24632.712
IP.5	72821.185	-24628.214
IP	72821.173	-24625.212

# 計画縦断面図 (排水路 A)

縮尺 縦1:100・横1:500

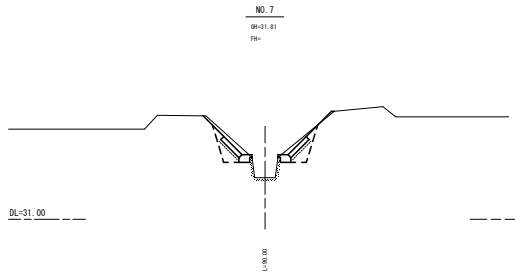


凡	例
———	現況河床高
———	左田面高
———	右田面高

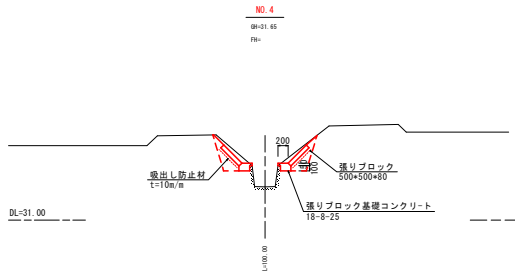
計画勾配	計画水路高	田面高左	田面高右	現況水路高	過加距離	準距距離	測点	曲線
1/600	31.480	32.16	31.48	31.48	0.00	0.00	NO.0	
	31.460	32.41	31.46	31.46	20.00	20.00	-20.00	
	31.620	32.45	31.62	31.62	30.00	10.00	IP.1	
	31.620	32.45	31.62	31.62	30.45	0.45	IP.2	
	31.620	32.45	31.62	31.62	31.00	0.55		
	31.530	32.27	31.53	31.53	60.00	29.00	NO.2	
	31.590	32.71	31.59	31.59	90.00	30.00	NO.3	
	31.650	32.45	31.65	31.65	120.00	30.00	NO.4	
	31.700	32.63	31.70	31.70	150.00	30.00	NO.5	
	31.750	32.71	31.75	31.75	180.00	30.00	NO.6	
	31.810	32.76	31.81	31.81	210.00	30.00	NO.7	
	31.860	32.92	31.86	31.86	240.00	30.00	NO.8	
	31.900	33.04	31.90	31.90	270.00	30.00	NO.9	
	31.830	33.04	31.83	31.83	290.61	20.61	IP.3	
	31.770	33.04	31.77	31.77	300.00	9.39	NO.10	
	31.880	33.04	31.88	31.88	300.18	3.18	IP.4	
	31.880	33.04	31.88	31.88	300.95	6.97	IP.5	
	31.880	33.04	31.88	31.88	310.70	0.70	IP	

工事名	下後地区排水路改良測量設計業務
図面名	計画平面図・計画縦断面図 (排水路A)
作成年月日	平成30年7月
縮尺	図示 図面番号 1 / 6
会社名	株式会社 福島測設
事業者名	小 矢 部 市

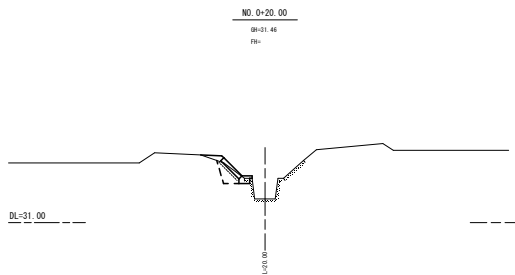
計画横断面図（排水路 A） S=1:50



土工	
床層	0.5
盛土	-
埋戻	0.3
盛土法面仕上	1.0
切土法面仕上	0.3



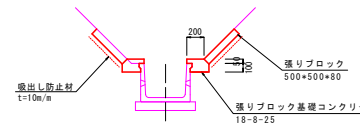
土工	
床層	0.5
盛土	-
埋戻	0.2
盛土法面仕上	0.6



土工	
床層	0.1
盛土	-
埋戻	0.1
盛土法面仕上	0.1

標準構造図

張りブロック工 S=1:30



張りブロック工

材料数量計算表			10.00m当たり
名称	計	算式	数量
基礎コンクリート	18-8-25	$0.20 \times 0.15 \times 10.00 \times 2 = 0.600$	0.60m <sup>3</sup>
養生	無筋構造物	コンクリートと同数量	0.60m <sup>3</sup>
型枠		$(0.05 + 0.10) \times 10.00 \times 2 = 3.000$	3.00m <sup>2</sup>
張りブロック	500*500*80	$80.50 \times 1 = 10.00m \quad 10.00 \times 2 / 0.50 \times n =$	40枚
張出し防止材	t=10mm	$0.50 \times 10.00 \times 2 = 10.00$	10.00m <sup>2</sup>

工事名	下後灘地区排水路改良測量設計業務		
図面名	計画横断面図（排水路A）		
作成年月日	平成30年7月		
縮尺	1/50	図面番号	2 / 6
会社名	株式会社 福島測設		
事業者名	小 矢 部 市		